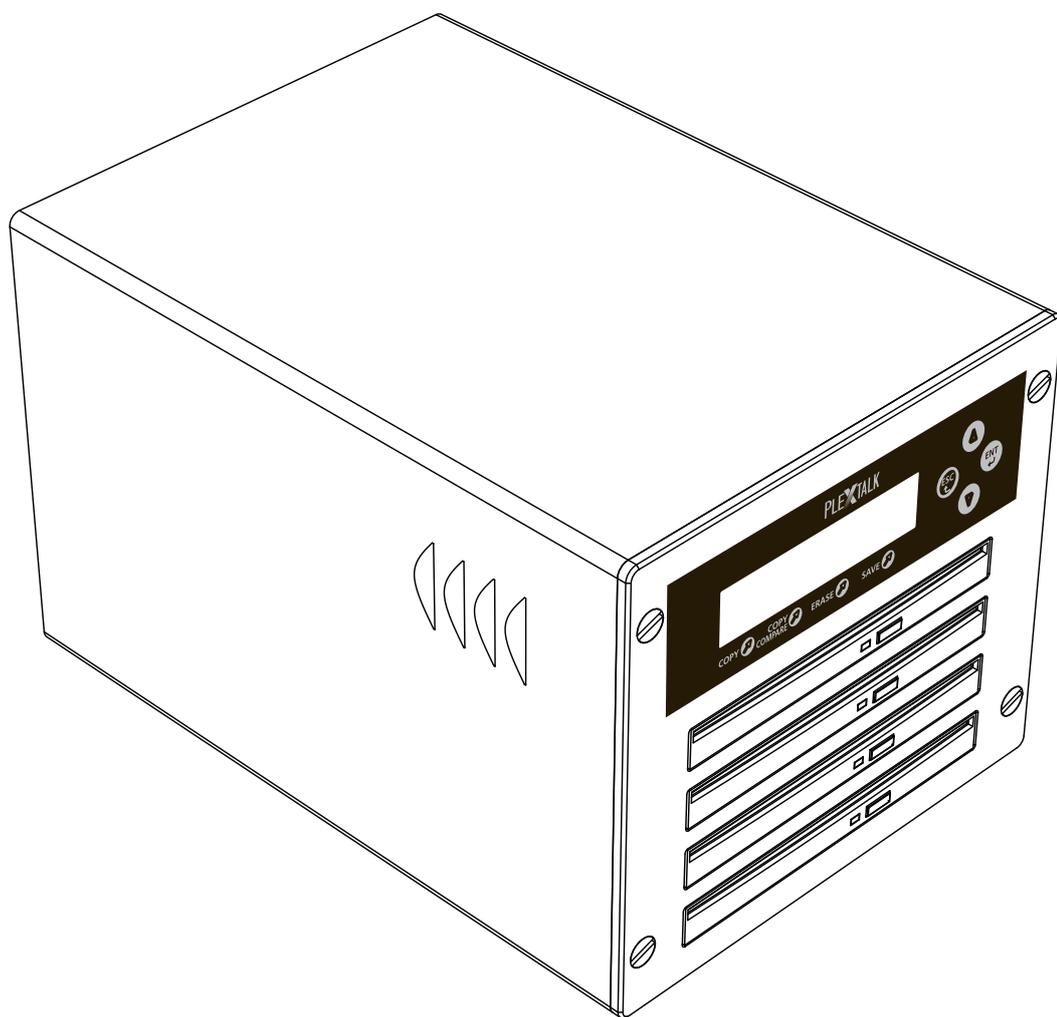


PLEXCOPIER

コンパクト CD/DVD コピー装置

PX-DM300A

取扱説明書



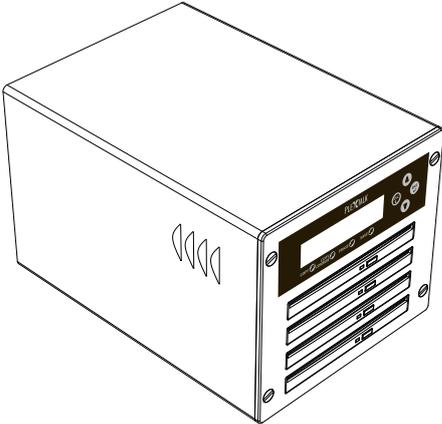
お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2012 Shinano Kenshi Co., Ltd.

同梱品一覧

本製品をご使用になる前に、まず以下のものがそろっているか、お確かめください。万一不足しているものがありましたら、お手数ですが弊社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

1. PX-DM300A 本体	1台	2. 電源コード	1本
		3. 保証書	1枚
		4. クイックマニュアル	1枚
		5. 取扱説明書（本書）	1冊



お願い：梱包箱や梱包材は、修理などのために本製品を安全に輸送する際に必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。また、本製品を修理依頼等で輸送する場合は、本製品が梱包箱の中で動かないようしっかりと固定してください。

本製品でできること

主要な機能	できること／用途
コピー	CD や DVD をコピーをすることができます。 1枚のディスクから一度に最大3枚のディスクに対して同時にコピーすることができます。
コンペア	コピー元とコピー先のディスクを比較して、データが全く同じかを確認することができます。 コピーが正確に行われたかを確認する際にご利用ください。
テスト	コピーが可能かどうかを前もって確認することができます。 コピーできるかどうか不明な際にご利用ください。
消去	CD-RW、DVD ± RW に書き込まれたデータを消去することができます。 CD-RW、DVD ± RW を再利用する際にご利用ください。
コピー+コンペア	「コピー」と「コンペア」をセットで行うことができます。
テスト+コピー	「テスト」と「コピー」をセットで行うことができます。

安全にお使いいただくために

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告および注意事項



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。



プラグを抜く

煙が出る、異臭がする等の異常がある場合、そのまま使用すると火災、感電、けが等の原因になります。ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。



プラグを抜く

本製品の間隙から金属物などの異物を入れたり、本製品に水や洗浄液等の液体をこぼしたりしないでください。ショートして火災や感電や故障の原因になり、大変危険です。異物や液体が入ってしまった場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。



分解禁止

分解、修理、改造、他の製品への組込みをしないでください。火災・感電・故障の原因になり、大変危険です。修理は販売店または弊社お問い合わせ窓口にご依頼ください。

本製品内部の CD/DVD 読み取り用の光ピックアップから放射されるレーザー光線は人体に有害です。レーザー光線は目に見えないため、誤って目に入ったり、人体に触れる可能性があります。危険なレーザー放射を浴びないように、決して本製品を分解しないでください。



水ぬれ禁止

水回りや雨の当たる場所、湿気の多い場所で使用しないでください。感電・火災・故障の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



禁止

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、AC100V 50/60Hz 以外の電源では使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。



厳守

電源プラグについたほこりは定期的に清掃してください。その際、電源プラグをコンセントから抜いた後に清掃してください。ほこりがたまると火災や感電の原因になります。

警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。



厳守

たこあし配線をしないでください。火災や感電の原因になります。



厳守

電源プラグを差し込む際は、プラグ本体を持って根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと火災や感電の原因になります。また、電源プラグを抜く際は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ってプラグを抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないでください。重いものを乗せたり、引っ張ったり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟んだり、熱器具を近づけたりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。



禁止

本製品や CD/DVD を、埃の多い場所、直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、炎天下の車内等に置かないでください。また、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアドライヤー、その他、熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災や感電、故障の原因になります。



禁止

本製品に対して、たたく、踏みつける、重いものを乗せる、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。また、火の中に入れてたり、電子レンジやオーブンなどで加熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。



プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



厳守

本体を廃棄する際は、お住まいの自治体の定める廃棄物分別方法に従って処分してください。



厳守

お手入れの際は、電源を切ってください。感電の原因になります。汚れを拭き取る場合は、柔らかい清潔な布をご使用ください。水や洗剤などの液体が本製品にかからないようご注意ください。液体が本製品にかけると、火災や感電や故障の原因になります。

⚠️注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う恐れ又は物的損害が発生する恐れがあります。

 厳守	本製品は傾いた場所や不安定な場所を避け、必ず水平な状態でご使用ください。また、垂直に立てかけたりしないでください。故障の原因になります。
 禁止	本製品が動作している際に振動等を与えないでください。データの破損や本製品の故障の原因になります。
 厳守	使用できるディスクは直径 12cm のもののみです。8cmCD (シングル CD) は使用しないでください。アダプターを付けても使用できません。また、名刺型などの異形の CD は使用しないでください。故障の原因になります。また、ラベルやシールを貼った CD は使用しないでください。「CD の取り出しができない」「CD の記録面に傷がつく」「再生ができない」など、故障・不具合の原因になります。
 厳守	ディスクをドライブに入れる際は、1 枚ずつ丁寧にに入れてください。無理な力を入れて押し込まないでください。既にディスクが入っている際に、別のディスクを無理に入れると故障の原因になります。
 禁止	本製品の中に CD/DVD を入れた状態及び電源コードを付けたままでの持ち歩き、移動・運搬はおやめください。故障の原因となります。また、本製品を落としたり、揺らしたりしないでください。
 禁止	電源を切る際、いきなり電源スイッチを切らないでください。故障の原因となります。
 禁止	本製品には、CD/DVD レンズクリーナーはご使用にならないでください。故障の原因になります。
 厳守	本体のお手入れの際は、柔らかい清潔な布をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールの入った溶剤などを使用しないでください。本製品の表面を痛めてしまいます。
 厳守	その他、本取扱説明書の記載内容を守らずに発生した、本製品の故障、データの消失・破損、業務の中断による損失、逸失利益、その他精神的損害を含め、いかなる損害についても一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

その他の注意事項

- 本取扱説明書の著作権はシナノケンシ株式会社が所有します。
- CD/DVDのコピーを行う際は、「著作権法第三十条～第五十条（著作権の制限）」に定められている範囲内（利用者が自由に利用できる範囲内）で行うか、あるいは、著作権の所有者から許諾を得て行ってください。（「著作権の制限」には、「第三十条 私的使用のための複製」、「第三十一条 図書館等における複製」などがあります。）
ただし、コピープロテクトのかかったCD/DVDのコピーは、著作権法第三十条（私的使用のための複製）には該当しませんので、コピーは禁止されています。
- 本製品は『外国為替および外国貿易法』の規定により戦略物質等輸出規制品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命にかかわる設備や機器、制御システム、および高度な信頼性が要求される設備や機器、制御システムとしての使用、またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用されたことによって、人的・物的損害が生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内での使用のみとさせていただきます。本製品を日本国外で使用された場合に発生したいかなる損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポートおよび保証などのアフターサービス等を行っておりません。あらかじめご了承ください。
This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or warranty service for this product outside Japan.
- 本製品がテレビやラジオ等の受信障害の原因となっている可能性がある場合、本製品の電源のON/OFFを切り替えることで確認することができます。本製品が原因の場合は次の方法をお試しください。
 - ・受信アンテナの位置、あるいは方向を変える
 - ・本製品と受信機の距離を離す
 - ・本製品と受信機のコンセントを別々にする

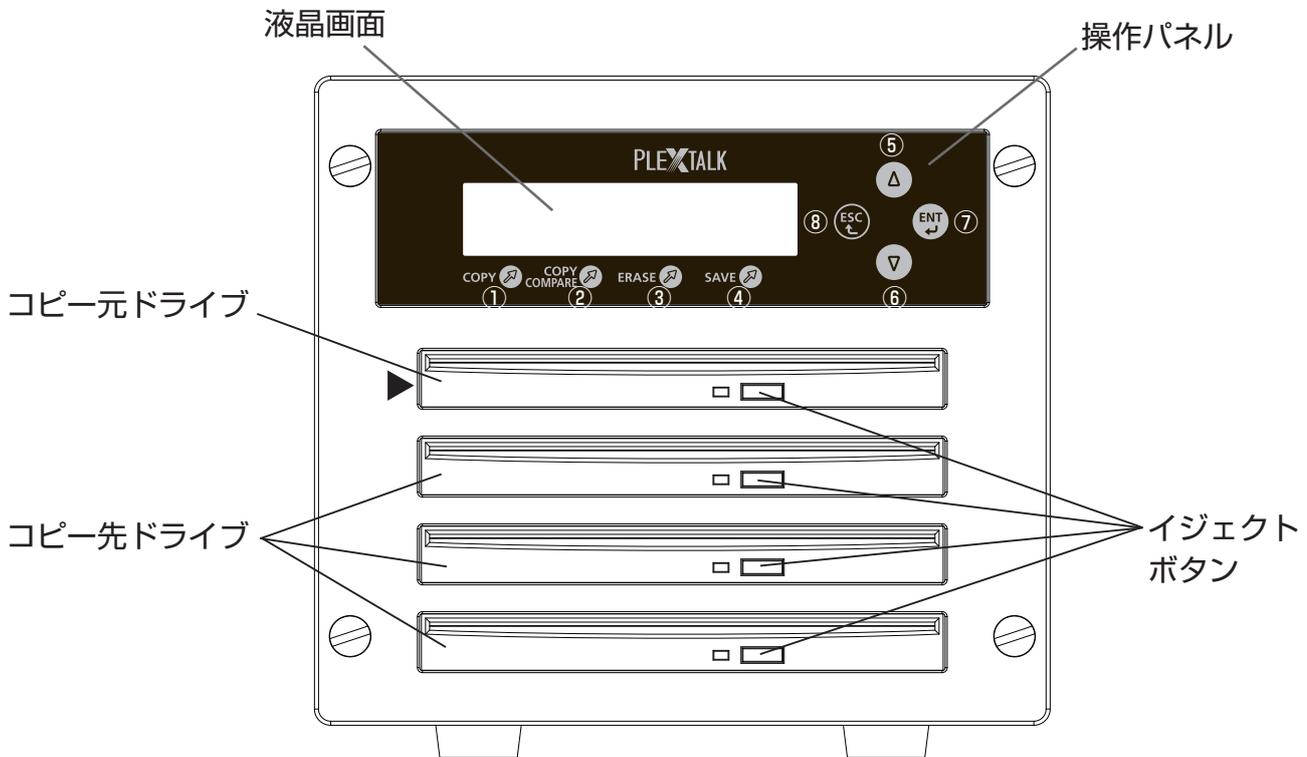
目次

同梱品一覧	2
本製品でできること	2
安全にお使いいただくために	3
目次	7
1. はじめに	8
1.1. 各部の名称	8
1.2. 電源の ON / OFF	10
1.3. CD/DVD について	11
2. 基本操作	14
2.1. メニュー	14
2.2. オートコピー	16
2.3. コピー+コンペア	17
2.4. 消去	18
3. 応用操作	19
3.1. テスト(書き込みテスト)	19
3.2. コンペア	20
3.3. テスト+コピー	21
3.4. コピー速度	22
3.5. セットアップ(設定の変更)	23
3.6. ユーティリティ	27
3.7. セーブ(設定の保存)	31
4. 故障かなと思ったら	32
4.1. 症状と対応方法	32
4.2. よくある質問	34
5. 推奨ディスク	35
6. 仕様	36
7. 保証について	37
8. お問い合わせについて	38
索引	39

1. はじめに

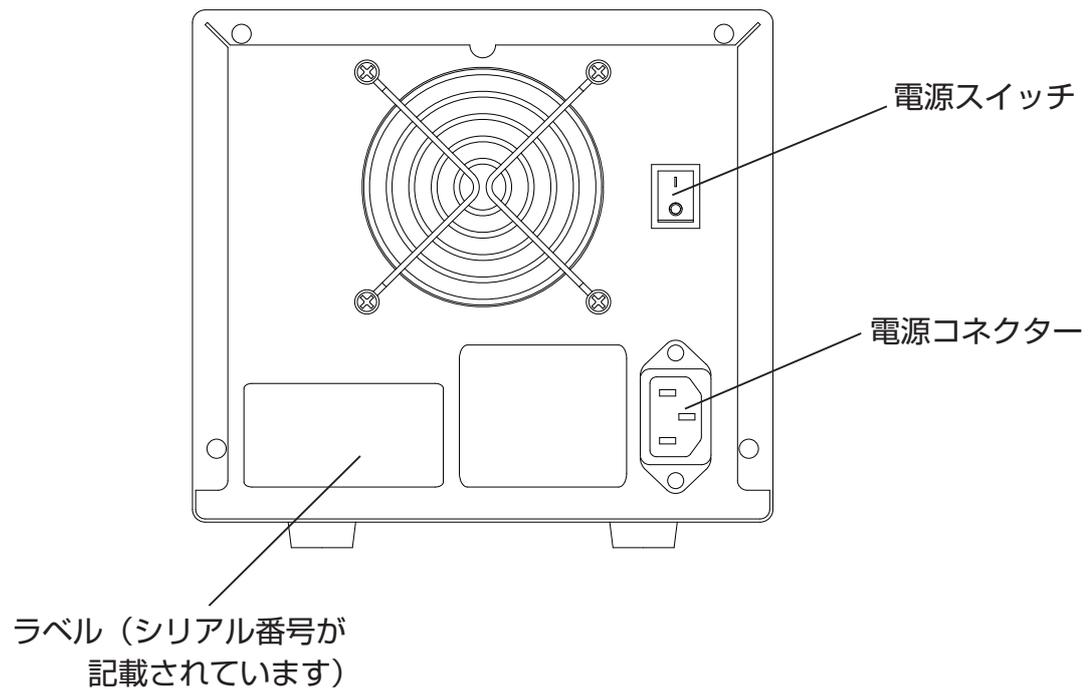
1.1. 各部の名称

正面



番号	ボタンの名称	はたらき	ボタンの総称
①	COPY ボタン	コピーを行います。	ショートカット ボタン
②	COPY COMPARE ボタン	コピーとコンペアを行います。	
③	ERASE ボタン	データを消去します。	
④	SAVE ボタン	設定を保存します。	
⑤	△ボタン	前の項目に移動します。	メニュー操作 ボタン
⑥	▽ボタン	次の項目に移動します。	
⑦	ENT ボタン	メニューを決定します。※	
⑧	ESC ボタン	メニューをキャンセルします。※	

※ 「メニュー」に関しては、「2.1. メニュー」を参照してください。



1.2. 電源の ON / OFF

電源を入れる

- 1 背面の電源コネクタとコンセントを電源コードで接続します。
- 2 背面の電源スイッチを入れます。
→本製品が起動するまで30秒ほど時間がかかります。工場出荷時の設定では、本製品が起動すると「ピピピッ」と音が鳴り、画面には「オートコピー」と表示されます。

電源を切る

- 1 操作パネルの[△ボタン]または[▽ボタン]を押し、「シャットダウン」を選択し、[ENTボタン]を押しします。
- 2 「シャットダウンハ ENTヲ オシテクダサイ」という表示が出ますので、[ENTボタン]を押しします。

シャットダウン シャットダウンハ ENTヲ オシテクダサイ

- 3 「システムチェック OK ! デンゲンヲ OFF デキマス」と表示されたら、背面の電源スイッチを切ってください。

システムチェック OK ! デンゲンヲ OFF デキマス

<注意>

- 電源を切る際、必ず上記の手順で行ってください。手順1・2を行わずに電源スイッチを切ると故障する場合があります。また、保存していない設定は無効になります。さらに、コピー中に電源スイッチを切ると、コピー先ディスクが読み書きできなくなります。

1.3. CD/DVD について

CD/DVD を使用する際の注意点

- 取り扱える CD/DVD は直径 12cm のものに限りです。直径 12cm 以外の CD/DVD は使用できません。直径 8cm のものを、アダプターにセットして使用することもできません。無理に使用すると故障の原因になります。
- コピープロテクトのかかった CD/DVD はコピーできません。コピーワンスコンテンツ（1 回だけ録画可能情報）は、コピーできますが再生はできません。
- 追記コピーはできません。そのため、コピー先として CD-R、DVD ± R、DVD ± R DL を使用する場合は、記録済みデータがあるディスクを使用するとエラーになります。何も記録されていないディスク（ブランクディスク）を使用してください。（追記コピーとは、すでにデータが記録されているディスクに、データを追加することを意味します。）
- コピー先として CD-RW、DVD ± RW を使用する場合、ディスクに記録済みデータがあると、本製品はそのデータを自動的に消去してからコピーを開始します。消去したくないデータがある場合は必ずバックアップをとってください。
- コピー元ディスクはクローズ（閉じられている）されているディスクに限りです。DVD マルチセッション（マルチボーダー）ディスクには対応していません。
- DVD レコーダーシステム（マルチトラック）で作成したディスクは、正常にコピーできない場合があります。コピー後のディスクは、コンペアを行うことを推奨いたします。
- コピー実行中など、ドライブの動作中に電源を切らないでください。ディスクを傷めたり、本製品の故障・不具合の原因になります。
- ディスクに汚れキズが付着しないようご注意ください。汚れやキズが付くとコピー時間が長くなる、またはコピーに失敗する場合があります。
- コピー先ディスクとして 2 枚または 3 枚のディスクを同時に使用する場合、CD-R と CD-RW のように、違う種類のディスクを混在して使用すると、コピーに失敗する場合があります。コピー先ディスクは同じ種類のものを使用してください。
- 作業が終了したら、メニュー画面に成功した枚数と失敗した枚数が表示されます。失敗がなかった場合は「シッパイ 0」と表示されます。
- 工場出荷時の設定では、コピー先にディスクを入れてから 20 秒後に自動的にコピーが始まります。複数枚のディスクをコピーする場合は、20 秒以内に次のディスクを入れてください。コピーが開始された後でディスクを入れても、そのディスクに対してはコピーされません。また、終了後もディスクは自動で排出されません。
- 自動的にコピーが始まらないようにするには「3.5.2. オートスタート」を参照してください。
- コピー後のディスク記録面に縞模様が発生する場合がありますが、故障ではありません。問題なく使用することができます。
- CD / DVD ディスクの相性によっては、コピーに失敗する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品 PTR1、PTR2 などで作成したディスクは CD ファイナライズを実行してから本製品でコピーを行ってください。また、PTR1、PTR2 などで作成したディスクはコピー時間が長くなる場合があります。
- 本製品で消去したディスクを弊社製品 PTR1/PTR2 などを使用する場合は、本製品で「完全消去」を行ってから使用してください。

コピー先とコピー元の制限事項

- CD を DVD にコピーすることはできません。また、DVD を CD にコピーすることはできません。
- 2層の DVD を 1層の DVD にコピーすることはできません。また、1層の DVD を 2層の DVD にコピーすることはできません。
- コピー元 CD の「データ容量」が、コピー先 CD の「ディスク容量」より大きい場合、コピーを実行することはできません。※ 1

<対応表>

CD の対応表 (●印は対応 一印は非対応)

		コピー先	
		CD-R	CD-RW
コピー元	CD-ROM	●	●
	CD-R	●	●
	CD-RW	●	●

DVD の対応表 (●印は対応 一印は非対応)

		コピー先					
		DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-R DL	DVD+R DL
コピー元	DVD-ROM 1層	●	●	●	●	—	—
	DVD-ROM 2層	—	—	—	—	●	●
	DVD-R	●	●	●	●	—	—
	DVD-RW	●	●	●	●	—	—
	DVD+R	●	●	●	●	—	—
	DVD+RW	●	●	●	●	—	—
	DVD-R DL	—	—	—	—	●	●
	DVD+R DL	—	—	—	—	●	●

注)

※ 1 : コピー元ディスクのデータのフォーマット形式によっては、データ容量が実際より大きく表示される場合があります。



ディスクの取り扱い方に関する注意事項

- ディスクは 1 枚ずつ丁寧にドライブに入れてください。
- ディスクに汚れが付着しないようにしてください。
- ディスクは指で中央の穴と外線を挟むように持ちます。データを記録する面には触れないでください。
- ディスクを落とす、上に重いものをのせる、衝撃を与えるなど、強い力を加えないでください。
- ディスクのレーベル面に、ラベルなどを貼らないでください。「正常にコピーできない」「排出されない」など、故障・不具合の原因になります。
- ディスクは保護のため、元のパッケージやケースなどに入れて保管してください。ほこりが付着している場合は、エアースプレーやクリーニングクロス（布）柔らかい布等を使って中心から放射状方向に向かってディスクを傷つけないようにクリーニングしてください。

2. 基本操作

2.1. メニュー

メニュー一覧

大項目 (第1階層)	中項目 (第2階層)	小項目 (第3階層)
1. テスト (p19)		
2. コンペア (p20)		
3. テスト+コピー (p21)		
4. コピー+コンペア (p17)		
5. コピーソクド センタク (p22)	1 CD to CD ソクド	4 ~ 24 倍から選択
	2 DVD to DVD ソクド	2 ~ 8 倍から選択
	3 DVD DL to DVD DL ソクド	2 ~ 4 倍から選択
6. ショウキョ (p18)	1 クイック ショウキョ	
	2 カンゼン ショウキョ	
7. セットアップ (p23)	1 ゲンゴ センタク (p23)	ニホンゴ 他
	2 オートスタート (p24)	ジドウ
		フル
		オフ
	3 ブザー (p25)	オン
		オフ
	4 スタートアップメニュー (p26)	大項目の1. テストから 11. シャットダウンまで
8. ユーティリティ (p27)	1 ディスク ジョウホウ (p27)	
	2 プリスキャン (p28)	
	3 システム ジョウホウ (p29)	
	4 ドライブ ジョウホウ (p29)	
	5 ロード デフォルト (p30)	
	6 アップデート ファームウェア (p30)	
9. セーブ (p31)		
10. オートコピー (p16)		
11. シャットダウン (p10)		

操作パネルの[▽ボタン]を押すと、メニュー一覧を下方向に移動し、[△ボタン]を押すと、上方向に移動します。[ENT ボタン]を押すと右方向（下の階層）に移動し、[ESC ボタン]を押すと左方向（上の階層）に移動します。最も下の階層で [ENT ボタン] を押すと操作が決定されます。

例えば、起動時の動作を「コピー+コンペア」に設定するには、以下のように行います。

1. [▽ボタン]または[△ボタン]を何回か押して、メニューの大項目（第1階層）の中から「セットアップ」を選択します。大項目が表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押すと大項目が表示されます。
2. 「セットアップ」を選択したら [ENT ボタン] を押します。すると中項目（第2階層）が表示されます。
3. [▽ボタン]または[△ボタン]を何回か押して、中項目の中から「スタートアップメニュー」を選択します。
4. [ENT ボタン]を押します。すると小項目（第3階層）が表示されます。
5. [▽ボタン]または[△ボタン]を何回か押して、小項目の中から「コピー+コンペア」を選択します。
6. [ENT ボタン]を押します。すると初期動作が「コピー+コンペア」に設定されます。
7. [ESC ボタン]を何回か押して大項目（第1階層）に戻り、[SAVE ボタン]を押すと設定が保存されます。または、シャットダウンを行うことによっても設定が保存されます。

<ポイント>

- [SAVE ボタン]などの「ショートカットボタン」は、大項目（第1階層）の時に有効です。中項目（第2階層）や小項目（第3階層）の時にショートカットボタンを押しても動作しません。

2.2. オートコピー

簡単にコピーするには以下のように行います。最大3枚のコピー先ディスクに対して同時にコピーすることができます。

<注意>

- コピー先として CD-RW、DVD ± RW を使用する場合、記録済みデータがあると、自動的にクイック消去されます。消去したくないデータがある場合は必ずバックアップをとってください。それ以外のディスクの場合、コピー先にデータがあるとエラーになります。

1 [COPY ボタン] を押します。

→あるいは、[△ボタン]または[▽ボタン]を押して「オートコピー」を選択し、[ENT ボタン]を押します。工場出荷時の設定の場合、「オートコピー」を選択すると「ピッピッ」と鳴ります。



2 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

3 コピー先ディスクを2番目以降のドライブに入れます。

- 工場出荷時の設定の場合、ディスクを入れた後、20秒経過すると自動的にコピーが始まります。もし自動的にコピーが始まらない場合は [ENT ボタン] を押してください。コピーが始まります。
- 終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

<ポイント>

- [COPY ボタン] を押しても上の図のような表示が出ない場合は、[ESC ボタン] を何回か押してメニューの大項目に戻ってから [COPY ボタン] を押してください。
- コピー元ディスクは自動的に排出されません。動作が終了したら、イジェクトボタンを押して取り出してください。
- 自動的にコピーが始まらないようにするには、「3.5.2. オートスタート」を参照してください。
- データ容量が約 650MB の CD をコピーするには、24 倍速で約 6 分、10 倍速で約 9 分、4 倍速で約 21 分かかります。ただし、ディスクの状態によっては更に時間がかかる場合があります。

2.3. コピー + コンペア

コピーとコンペアをセットで行うことができます。コンペアとは、コピー元とコピー先のデータが全く同じであることを確認する機能のことです。

<注意>

- コピー先として CD-RW、DVD ± RW を使用する場合、記録済みデータがあると、自動的にクイック消去されます。消去したくないデータがある場合は必ずバックアップをとってください。それ以外のディスクの場合、コピー先にデータがあるとエラーになります。

1 [COPY COMPARE ボタン] を押します。

→あるいは、[△ボタン]または[▽ボタン]を押して「コピー+コンペア」を選択し、[ENT ボタン]を押します。



2 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

3 コピー先ディスクを2番目以降のドライブに入れます。

- 工場出荷時の設定の場合、ディスクを入れた後、20秒経過すると自動的にコピーが始まります。もし自動的にコピーが始まらない場合は [ENT ボタン] を押してください。コピーが始まります。
- 終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

<ポイント>

- [COPY COMPARE ボタン]を押しても上の図のような表示が出ない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してメニューの大項目に戻ってから [COPY COMPARE ボタン] を押してください。
- コピー+コンペアが終了したら、メニュー画面に成功した枚数と失敗した枚数が表示されます。コピー元とコピー先のデータが少しでも違っていたら失敗と判定されます。
- コピー元ディスクは自動的に排出されません。動作が終了したら、イジェクトボタンを押して取り出してください。
- 電源を入れた直後の初期動作を「コピー+コンペア」にするには、メニュー画面から「セットアップ」→「スタートアップメニュー」を選択し、その中から「コピー+コンペア」を選択して [ENT ボタン] を押すと設定されます。スタートアップメニューの操作方法については「3.5.4. スタートアップメニュー」(26 ページ)を参照してください。
- データ容量が約 650MB の CD をコピー+コンペアするには、24 倍速で約 10 分、10 倍速で約 14 分、4 倍速で約 26 分かかります。ただし、ディスクの状態によっては更に時間がかかる場合があります。

2.4. 消去

CD-RW または DVD ± RW のデータを消去するには以下のように行います。

1 [ERASE ボタン] を押します。

→あるいは、[△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ショウキョ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。



2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して、メニュー画面から「クイック ショウキョ」あるいは「カンゼン ショウキョ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。



3 消去するディスクを2番目以降のドライブに入れます。

→消去が自動的に始まります。自動的に始まらない設定になっている場合は [ENT ボタン] を押してください。

→終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

<ポイント>

- 「クイック消去」は、ディスクの先頭に書かれている基本情報のみを消去します。「完全消去」は、ディスクに書き込まれたデータを全て消去します。
- [ERASE ボタン] を押しても上の図のような表示が出ない場合は、[ESC ボタン] を何回か押してメニューの大項目に戻ってから [ERASE ボタン] を押してください。
- CD-RW / DVD ± RW 以外の種類のディスク内容を消去することはできません。
- ディスクの種類により、消去時間が異なります。
- 700MB の CD-RW を完全消去するには、MultiSpeed の CD で約 22 分、HighSpeed の CD で約 9 分かかります。ただし、CD の状態によってはさらに時間がかかる場合があります。クイック消去の場合は 1 分ほどで消去されます。
- CD-RW, DVD ± RW は定期的に「完全消去」を行うことをお勧めします。
- 弊社製品 PTR1/PTR2 などを使用するディスクを消去する場合は、「完全消去」を行ってください。

3. 応用操作

3.1. テスト（書き込みテスト）

コピーする前に正常にコピーできるかを確認することができます。コピー先ディスクには記録されません。

<注意>

- コピー先として CD-RW、DVD-RW を使用する場合、記録済みデータがあると、書き込みテストの場合でも、自動的にクイック消去されます。消去したくないデータがある場合は必ずバックアップをとってください。それ以外のディスクの場合、コピー先にデータがあるとエラーになります。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「テスト」を選択し、[ENTボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても下の図のような表示が出ない場合は、[ESCボタン]を何回か押してから [△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。



2 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

3 コピー先ディスクを2番目以降のドライブに入れます。

→テストが自動的に始まります。自動的に始まらない設定になっている場合は [ENTボタン]を押してください。

→終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

<ポイント>

- コピー先に DVD+R、DVD+RW、DVD + R DL のディスクを使用した場合、ディスクの規格のため「テスト」を行うことはできません。

3.2. コンペア

「コンペア」によって、コピー元とコピー先のデータが同じかを確認することができます。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「コンペア」を選択し、[ENTボタン]を押します。

→[△ボタン]または[▽ボタン]を押しても下の図のような表示が出ない場合は、[ESCボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。



2 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

3 コンペアするディスクを2番目以降のドライブに入れます。

→コンペアが自動的に始まります。自動的に始まらない設定になっている場合は [ENTボタン] を押してください。

→終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

3.3. テスト+コピー

「テスト+コピー」では、正常にコピーできるかを確認した後にコピーを行います。

<注意>

- コピー先として CD-RW、DVD-RW を使用する場合、記録済みデータがあると、自動的にクイック消去されます。消去したくないデータがある場合は必ずバックアップをとってください。それ以外のディスクの場合、コピー先にデータがあるとエラーになります。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「テスト+コピー」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても下の図のような表示が出ない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから [△ボタン]または [▽ボタン]を押してください。



2 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

3 コピー先ディスクを2番目以降のドライブに入れます。

→テスト+コピーが自動的に始まります。自動的に始まらない設定になっている場合は [ENT ボタン]を押してください。

→終了すると成功した枚数と失敗した枚数が表示され、成功したディスクは自動的に排出されます。失敗したディスクはイジェクトボタンを押して取り出してください。

<ポイント>

- コピー先に DVD+R、DVD+RW、DVD + R DL のディスクを使用した場合、ディスクの規格のため「テスト」を行うことはできません。

3.4. コピー速度

コピーの速度を変更することができます。以下のような速度設定が可能です。

CD・・・4倍、8倍、10倍、16倍、24倍

DVD（1層）・・・2倍、2.4倍、4倍、6倍、8倍

DVD（2層）・・・2倍、2.4倍、4倍

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「コピーソクド センタク」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→[△ボタン]または[▽ボタン]を押しても下の図のような表示が出ない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。



2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して、以下の3つの選択肢からディスクの種類を選び、[ENT ボタン]を押します。

「CD to CD ソクド」・・・CD の場合

「DVD to DVD ソクド」・・・DVD の場合

「DVD DL to DVD DL ソクド」・・・2層式 DVD の場合

3 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して速度を選び、[ENT ボタン]を押します。

→コピー速度が設定されます。

4 [ESC ボタン]を何回か押して「コピーソクド センタク」に戻ります。戻る際に設定が保存されます。

3.5. セットアップ（設定の変更）

「セットアップ」メニューを使って、設定を変更することができます。

以下の項目が変更可能です。

- ゲンゴセンタク・・・・・・・・・・ 表示言語の選択
- オートスタート・・・・・・・・・・ 動作開始条件の選択
- ブザー・・・・・・・・・・ ブザー音 ON / OFF の選択
- スタートアップメニュー・・・・ 起動時の動作の選択

3.5.1. ゲンゴセンタク

メニュー画面に表示される言語を選択することができます。選択できる言語は日本語、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、カタロニア語、ポルトガル語の合計9ヶ国語です。

- 1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「セットアップ」を選択し、[ENTボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても下の図のような表示が出ない場合は、[ESCボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。



- 2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ゲンゴ センタク」を選択し、[ENTボタン]を押します。



- 3 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して言語を選択し、[ENTボタン]を押します。

→ 選択した言語でメニュー画面が表示されます。

- 4 [ESCボタン]を何回か押して大項目に戻り、[SAVEボタン]を押すと設定が保存されます。

※シャットダウンでも設定が保存されます。

3.5.2. オートスタート

「オートコピー」、「テスト」、「コンペア」、「テスト+コピー」、「コピー+コンペア」、「消去」の動作開始条件を変更することができます。以下の「ジドウ」「フル」「オフ」の3種類があります。

- ジドウ：コピー先にディスクを挿入してから約20秒間操作されないと、自動的に動作が始まります。コピー先にディスクを3枚入れると、すぐに動作が始まります。
- フル：コピー元とコピー先3つの全てのドライブにディスクが挿入されると自動的に動作が始まります。コピー先に3枚のディスクが挿入されない場合は、自動で開始しませんので開始するには[ENT ボタン]を押す必要があります。
- オフ：[ENT ボタン] を押すと動作が始まります。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「セットアップ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→[△ボタン]または[▽ボタン]を押しても「セットアップ」と表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。

2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「オートスタート」を選択し、[ENT ボタン]を押します。



3 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ジドウ」「フル」「オフ」のいずれかを選択し、[ENT ボタン]を押します。

→動作開始条件が設定されます。

4 [ESC ボタン]を何回か押して大項目に戻り、[SAVE ボタン]を押すと設定が保存されます。

※シャットダウンでも設定が保存されます。

<ポイント>

- 工場出荷時の設定は「ジドウ」です。

3.5.3. ブザー

ブザー音の ON/OFF を選択することができます。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「セットアップ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても「セットアップ」と表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから [△ボタン]または [▽ボタン]を押してください。

2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ブザー」を選択し、[ENT ボタン]を押します。



3 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「オン」または「オフ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→ブザー音の ON/OFF が設定されます。

4 [ESC ボタン]を何回か押して大項目に戻り、[SAVE ボタン]を押すと設定が保存されます。

※シャットダウンでも設定が保存されます。

<ポイント>

- 工場出荷時の設定は「オン」です。
- 次のような場合にブザー音が鳴ります。
 - ・ボタンを押した時：ピッ
 - ・メニューの「オートコピー」を選択した時：ピピッ
 - ・電源を入れ、操作可能な状態になった時：ピピピッ
 - ・動作が成功した時：ピピッ、ピピッ、ピピッ
 - ・動作が失敗した時：ピピピピピピ・・・

3.5.4. スタートアップメニュー

電源投入直後に表示される動作を変更することができます。すべての大項目が選択可能です。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「セットアップ」を選択し、[ENTボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても「セットアップ」と表示されない場合は、[ESCボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。

2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「スタートアップメニュー」を選択し、[ENTボタン]を押します。



3 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して、電源投入直後にメニュー画面に表示させたい動作を選択し、[ENTボタン]を押します。

→ 起動直後の表示が設定されます。

4 [ESCボタン]を何回か押して大項目に戻り、[SAVEボタン]を押すと設定が保存されます。

※ シャットダウンでも設定が保存されます。

<ポイント>

● 工場出荷時の設定は「オートコピー」です。

3.6. ユーティリティ

本製品やディスクに関する情報を確認することができます。以下の項目があります。

1. ディスク ジョウホウ：ディスクの情報を表示します。
2. プリスキャン：コピー元ディスクの状態を表示します。
3. システム ジョウホウ：システムのバージョン情報を表示します。
4. ドライブ ジョウホウ：ドライブの製品情報を表示します。
5. ロード デフォルト：工場出荷時の状態に戻します。
6. アップデート ファームウェア：システムのファームウェアをアップデートします。

3.6.1. ディスク ジョウホウ

ディスクの情報（使用容量、空き容量等）を表示します。ドライブに挿入されているディスクの情報を上から順に表示します。

- 1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ユーティリティ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても下の図のような表示が出ない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから [△ボタン]または [▽ボタン]を押してください。



- 2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ディスク ジョウホウ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

- 3 ディスクをドライブに入れます。
※どのドライブに入れても構いません。

- 4 ディスクの情報が、画面に表示されます。
※入れたディスクに対して、上から順に番号が表示されます。
※ [△ボタン] または [▽ボタン] を押すと、他のドライブに入れたディスクの情報が表示されます。

- 5 情報を確認し終わったら、[ESC ボタン]を押してください。ディスクが排出されます。
※イジェクトボタンを押してもディスクは排出されません。

<ポイント>

- コピー元ディスクのデータのフォーマット形式によっては、データ容量が実際より大きく表示される場合があります。

3.6.2. プリスキャン

コピー元ディスクのデータが読み出し可能かどうかを確認することができます。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ユーティリティ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→[△ボタン]または[▽ボタン]を押しても「ユーティリティ」と表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。

2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「プリスキャン」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

3 コピー元ディスクを一番上のドライブに入れます。

4 データが読み出し可能な場合は、以下のように表示されます。
「セイコウ1 シッパイ0」

読み出すことのできないデータがある場合は、以下のように表示されます。

「セイコウ0 シッパイ1」

<ポイント>

- ディスクの品質やディスクフォーマットにより、プリスキャン時間が長くなる場合があります。

3.6.3. システム ジョウホウ

ファームウェアのバージョンを確認することができます。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ユーティリティ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても「ユーティリティ」と表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。

2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「システム ジョウホウ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

3 ファームウェアのバージョンが表示されます。

3.6.4. ドライブ ジョウホウ

本製品のドライブの情報を確認することができます。ドライブの型番などが表示されます。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ユーティリティ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても「ユーティリティ」と表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。

2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ドライブ ジョウホウ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

3 1番上のドライブの情報が表示されます。

4 [△ボタン] または [▽ボタン] を押すと、他のドライブの情報が表示されます。

3.6.5. ロード デフォルト

各設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ユーティリティ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→ [△ボタン]または[▽ボタン]を押しても「ユーティリティ」と表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。

2 [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ロード デフォルト」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

3 ロードデフォルトの実行を確認する表示が出ますので、[ENT ボタン]を押して実行します。

→工場出荷時の設定値に戻ります。

4 [ESC ボタン]を何回か押して大項目に戻り、[SAVE ボタン]を押すと設定が保存されます。

※シャットダウンでも設定が保存されます。

<工場出荷時の設定値>

メニュー	工場出荷時の設定値
CD to CD ソクド	24x (24 倍速)
DVD to DVD ソクド	8x (8 倍速)
DVD DL to DVD DL ソクド	4x (4 倍速)
ゲンゴセンタク	ニホンゴ
オートスタート	ジドウ
ブザー	オン
スタートアップメニュー	オートコピー

3.6.6. アップデート ファームウェア

システムのファームウェアのアップデートを行います。通常は使用しません。

1. [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「ユーティリティ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。「ユーティリティ」が選択できない場合は、[ESC ボタン]を何回か押してから[△ボタン]または[▽ボタン]を押してください。

2. [△ボタン]または[▽ボタン]を押して「アップデート ファームウェア」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

3. アップデートディスクを一番上のドライブに入れます。ディスクが読み込まれたら自動的にアップデートが始まります。

4. アップデートが正常に終わるとディスクが自動的に排出されます。電源スイッチを切ってください。

3.7. セーブ（設定の保存）

ゲンゴ センタク、オートスタート、ブザー、スタートアップメニューの設定を変更した際、その設定を保存するには以下のように行います。

1 [SAVE ボタン] を押します。

→あるいは、[△ボタン]または[▽ボタン]を押して「セーブ」を選択し、[ENT ボタン]を押します。

→設定が保存され、液晶画面に「セッテイヲ ホゾンシマシタ」と表示されます。

※シャットダウンでも設定が保存されます。

<ポイント>

- [SAVE ボタン] を押しても「セッテイヲ ホゾンシマシタ」と表示されない場合は、[ESC ボタン]を何回か押して大項目に戻ってから [SAVE ボタン] を押してください。
- コピー速度の選択の際は、[ESC ボタン]で「CD to CD ソクド」などから「コピーソクド センタク」に戻る際に、設定が保存されます。

4. 故障かなと思ったら

4.1. 症状と対応方法

故障かなと思ったら、以下の方法を試してください。

症状	原因	対応のしかた
電源が入らない	電源コードがしっかりと接続されていない	電源コードが電源コネクタにしっかりと差し込まれているかを確認してください。
コピーができない	コピー先のCD-R, DVD±R, DVD±R DLにデータが記録されている	コピー先のCD-R, DVD±R, DVD±R DLにデータが記録されている場合は、コピーできません。何も記録されていないディスク（ブランクディスク）を使用してください。
	コピー先ディスクの「ディスク容量」が、コピー元ディスクの「データ容量」よりも小さい	コピー先ディスクの「ディスク容量」は、コピー元ディスクの「データ容量」より大きいものを使用してください。
コピー中にアスタリスクが表示される。 (コピーチュウ・・・ →コピーチュウ*** になる)	コピー元ディスクのデータが読み取りにくい	コピー元ディスクに傷や汚れがある場合、またはコピー元ディスクの品質が悪い場合は、コピー時間が長くなったり、コピーに失敗する場合があります。 コピー元ディスクの品質を確認する場合はディスクの汚れを拭き取ってから、メニューの「ユーティリティ」→「プリスキャン」を選択し、プリスキャンを実行してください。
コピー先ディスクが自動で排出されない	2枚目以降のディスクを入れる際に20秒以上経過してしまった (「オートスタート」が「ジドウ」に設定されている場合)	「オートスタート」が「ジドウ」に設定されている場合、ディスクを入れてから20秒経過すると自動的にコピーが開始されます。開始後にディスクを入れてもコピーは行われないため、後から入れたディスクは自動的に排出されません。
	コピーに失敗した	イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、記録面に汚れがないか確認してください。汚れがある場合、汚れを拭き取ってください。
コピー元ディスクが自動的に排出される	コピー元ディスクに傷や汚れがあり、正常に読み取りできなかった	コピー元ディスクの記録面を確認し、汚れがある場合は汚れを拭き取って、再度入れてください。

症状	原因	対応のしかた
コピーが自動で開始されない	コピー先ディスクに傷や汚れがあり、コピー先ドライブがディスクを認識できない	イジェクトボタンを押してコピー先ディスクを取り出します。記録面を確認して、汚れがあったら拭き取ってください。再度コピーを実行してもコピーが開始されない場合は、新しいディスクを使用してください。その際は、推奨ディスクを使用してください。
	セットアップメニューのオートスタートがジドウ以外に設定されている。	メニューから「セットアップ」→「オートスタート」→「ジドウ」を選択し、[ENT ボタン] を押してください。コピーが自動で開始される設定になります。
コピー後のディスク記録面に縞模様が発生する	本製品が段階的に記録速度を変化させている	故障ではありませんが、以下の速度でコピーを行うと、縞模様が付きにくくなります。 CD：8 倍 DVD：2.4 倍 DVD DL：2.4 倍
速度を変更してもコピー時間が変わらない	コピー先ディスクが、設定した速度に対応していない	「5. 推奨ディスク」を参照し、ディスクが対応している速度に設定してください。
	コピー元ディスクのデータが読み取りにくい	コピー元ディスクに傷や汚れがある場合、またはコピー元ディスクの品質が悪い場合、コピーに時間がかかり、設定した速度よりも遅れてしまうことがあります。
消去ができない	CD-R、DVD ± R、DVD ± R DL を消去しようとしている	消去しようとしているディスクの種類を確認ください。CD-R、DVD ± R、DVD ± R DL の場合、データを消去することはできません。
	一番上のドライブにディスクを入れた	消去する際は、2 番目以降のドライブを使用してください。
ボタンを押しても目的の項目が表示されない	メニューの中項目以下の階層にいる	[ESC ボタン] を何回か押して、メニューの大項目より操作を行ってください。
ボタンを押しても表示が変更されない	動作中にボタンを押している	動作が終了してからボタンを押し直してください。
イジェクトボタンを押しても、ディスクが取り出せない	動作中にイジェクトボタンを押している	動作中にディスクを取り出すことはできませんので、動作が終了してからイジェクトボタンを押してください。
ディスクが挿入できない	既にドライブにディスクが挿入されている	ドライブのイジェクトボタンを押し、ディスクを排出してください。
ブザー音が鳴らない	セットアップメニューでブザーが「オフ」に設定されている	メニューから「セットアップ」→「ブザー」→「オン」を選択し、[ENT ボタン] を押してください。ブザーが鳴る設定になります。
メニュー画面が日本語以外になっている	「ゲンゴセンタク」が日本語以外の言語に設定されている	メニューから「セットアップ」→「ゲンゴセンタク」→「ニホンゴ」を選択し、[ENT ボタン] を押してください。日本語が表示されます。

4.2. よくある質問

質問	回答
コンペアとはどのような機能ですか？	コピー元ディスクとコピー先ディスクのデータ内容が一致しているかを確認する機能です。
700MBのCDをコピーしようとしたら、画面に700MBより大きな数字が表示されます。故障でしょうか？	故障ではありません。ディスクのデータのフォーマット形式によっては、データ容量が実際より大きく表示される場合があります。 700MBより大きな数字が表示された場合でも、コピー先に700MBのブランクディスクを使用すると、コピーを行うことができます。
市販されている音楽CDやデータCDのコピーはできますか？	コピーを行うことは可能です。ただし、著作権法に違反しない範囲内で行ってください。
CD EXTRAのコピーはできますか？	コピーを行うことは可能です。ただし、著作権法に違反しない範囲内で行ってください。
市販されているDVDビデオのコピーはできますか？	市販のDVDビデオを含め、コピープロテクトのかかったCD/DVDをコピーすることはできません。(著作権法で禁止されています。)
ブルーレイディスクのコピーはできますか？	本製品はブルーレイには対応しておりませんので、コピーすることはできません。
CDやDVDにデータを追記できますか？	データを追記することはできません。
CD-RWやDVD±RWの消去はできますか？	できます。クイック消去と完全消去の2つの方法があります。
クイック消去と完全消去は、どう違うのでしょうか？	ディスクの先頭にはディスクに関する基本的な情報が記されています。クイック消去はこの基本情報のみを消去します。完全消去とはディスクに書き込まれたデータを全て消去します。
CD-RWの消去には、どのくらい時間がかかりますか？	700MBのCD-RWを完全消去するには、MultiSpeedのCDで約22分、HighSpeedのCDで約9分かかります。ただし、CDの状態によってはさらに時間がかかる場合があります。クイック消去の場合は1分ほどで消去されます。

5. 推奨ディスク

下記のディスクの使用を推奨します。(情報は、2012年2月現在のものです)

種類	メーカー名	本製品でのコピー速度	ディスク速度
CD-R	太陽誘電	24倍	48倍
	三菱化学	24倍	48倍
CD-RW	三菱化学	10倍	HighSpeed
	三菱化学	4倍	MultiSpeed
DVD-R	太陽誘電	8倍	16倍
DVD-R DL	太陽誘電	4倍	8倍
DVD-RW	三菱化学	6倍 / 4倍	6倍 / 4倍
DVD+R	太陽誘電	8倍	16倍
DVD+R DL	—	—	—
DVD+RW	三菱化学	8倍	8倍

6. 仕様

項目	仕様	
製品名	コンパクト CD/DVD コピー装置	
型式	PX-DM300A	
製品分類	CD/DVD コピー装置	
対応ディスク	CD	CD-ROM / CD-R / CD-RW ただし、CD-ROM は読み込みのみ
	DVD	DVD-ROM / DVD ±R / DVD ±R DL / DVD ±RW ただし、DVD-ROM は読み込みのみ
ディスクサイズ	直径 12cm のみ	
対応フォーマット	CD	音楽 CD / CD-ROM / Video-CD / Mixed-CD / Extra-CD / Photo-CD
	DVD	DVD-ROM / DVD-Video
コピー速度	CD-R	24 倍 / 10 倍 / 8 倍 / 4 倍
	CD-RW	24 倍 / 10 倍 / 4 倍
	DVD-R	8 倍 / 6 倍 / 4 倍 / 2 倍
	DVD-R DL	4 倍 / 2 倍
	DVD-RW	6 倍 / 4 倍 / 2 倍
	DVD+R	8 倍 / 6 倍 / 4 倍 / 2.4 倍
	DVD+R DL	4 倍 / 2.4 倍
DVD+RW	8 倍 / 6 倍 / 4 倍 / 2.4 倍	
ディスクローディング方式	スロット方式	
データバッファサイズ	制御部	128M バイト
	ドライブ	2M バイト
使用温度範囲	5 ~ 35℃	
使用湿度範囲	20 ~ 80% [HR] 結露なきこと	
設置条件	水平	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力 (平均)	35W	
外形寸法	幅 181mm 高さ 165 mm 奥行 255mm	
本体重量	約 4.8kg	

7. 保証について

【保証規定】

シナノケンシ株式会社は、本製品のお買い上げ日から1年間(以下「保証期間」といいます)に本製品に不具合が認められた場合には、本製品が添付の取扱説明書に従ってご使用されている場合に限り、不具合の内容や程度等を考慮して、無償にて修理あるいは交換などの対応をいたします。但し、次のような場合は保証期間を問わず、保証の対象にはなりません。あらかじめご了承ください。

- お客様の取り扱い、操作方法が不適当なため生じた故障。
- 改造、修理が加えられた場合。
- 部品消耗の場合。(光ピックアップ等)
- 弊社又は弊社認定取扱店以外で修理等を行った場合。
- 故障の原因が本製品以外の機器による場合。
- 本製品より取り外した部品の修理。
- フロントパネル等、外観損傷の場合。
- 落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変による故障または損傷の場合。
- 付属品以外のものを使用して破損した場合。
- 修理等のご依頼の際、保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記載捺印なき場合、または保証書記載の文言を書き換えられた場合。
- 落下等の過大な衝撃による破損。
- 本製品を第三者に譲渡した場合。
- 本製品を日本国外で使用する場合。

【免責】

弊社は、いかなる場合においても、お客様の逸失利益、特別損害、付随的損害又はその他の結果的損害について、一切の責任を負うものではありません。

8. お問い合わせについて

本製品を操作中にトラブルが発生した際は、「4. 故障かなと思ったら」を参考にして対処してください。それでも解決できない場合は、販売店または弊社プレクストークお問い合わせ窓口にご連絡ください。

修理をご依頼いただく場合

下記の弊社プレクストークお問い合わせ窓口で電話、電子メールまたはFAXでご連絡いただく際、必ず次のことをご知らせください。

- ・ シリアル番号（本製品背面に貼られたシールに記載された番号です）
- ・ お買い上げ日・ご購入された販売店
- ・ 故障の状況

お問い合わせ先

〒386-0498

長野県上田市上丸子1078

シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口

電話 050-5804-1177

通話料金はおお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

月～土 9:30～17:00

日・祝祭日は休業

ファックスや電子メールは、常時受け付けております。

ファックス 0268-42-2923

電子メール plextalk@skcj.co.jp

ホームページ <http://www.plextalk.com/jp/>

索引

アップデート ファームウェア	30
オートコピー	16
オートスタート	24
言語選択	23
コピー速度	22
コピー+コンペア	17
コンペア	20
システム情報	29
シャットダウン (電源 OFF)	10
消去	18
スタートアップメニュー	26
セーブ (設定の保存)	31
セットアップ (設定の変更)	23
ディスク情報	27
テスト	19
テスト+コピー	21
電源の ON/OFF.....	10
ドライブ情報	29
ブザー音	25
ブランクディスク	11
プリスキャン	28
メニュー 一覧	14
メニューの大項目/中項目/小項目	14、15
ユーティリティ	27
ロードデフォルト	30

PLEX**TALK**[®]